

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1247.1	介護給付費	09	09	介護保険特別会計
			02	02	保険給付費
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	01	01	介護サービス等諸費
			01	01	居宅介護サービス給付費
担当部課名	介護保険課		101	101	居宅介護サービス給付費
作成者氏名	中出 富一	連絡先	26-3939	01	居宅介護サービス給付費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	介護保険要介護認定者が、自立した生活を営むことができるよう必要な保健医療サービス及び福祉サービスにかかる保険給付を行う。	要介護者に居宅介護サービスを幅広く提供することにより、自立した生活を営むことができるよう支援し、要介護度の改善を図って行く。
本年度事業内容	要介護が有する能力に応じて、訪問介護・訪問入浴介護・訪問介護・訪問リハビリテーション・短期入所生活介護等の居宅サービスを実施し、これに要した費用の100分の90相当額を居宅サービス等として給付した。	
根拠法令・要綱等	介護保険法	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,508,456	2,317,586	2,271,234
	給付費	2,508,456	2,317,586	2,271,234
	その他			
	合計(A+B)	2,509,896	2,319,026	2,272,674
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	852,875	869,094	772,219
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	1,254,228	1,158,793	1,135,617
	一般財源	402,793	291,139	364,838
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
居宅サービス利用者数	人	36756	45090	40576			

情勢の変化及び事業の改善点等

平成12年度より介護保険制度が施行され、しだいに居宅サービス利用者数も増加しており、順調に推移している。そこで、これに対応する居宅サービスの充実が必要となるところであります。事業内容の見直しは、法に基づき3年毎に実施されるが、今後3年後の見直し計画(平成18年度～)で、国の制度改正等を踏まえ事業内容の見直しが必要である。また、平成18年度の改正介護保険法による在宅サービスの基盤整備及び介護予防の充実による利用者の減少を図っていく。

評価	達成度	3	居宅サービス利用者数も増加しており、順調に推移しているのではないかと考えるが、給付内容の審査や居宅サービス事業者への支払い等をすでに委託しており、更なる経費の節減、所要時間の縮減の余地はないものとするが、財源の有効活用からの視点から、給付の適正化対策等に検討余地はある。
	効率性	3	